

第40回理学療法士作業療法士国家試験問題
採点を除外することが望ましいと思われる問題

(平成17年3月6日実施)

作業療法問題	問題番号 (11)
<p>問題11 自宅退院にあたり、適切でないのはどれか。2つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 玄関までのスロープを斜度1/8とした。2. ドアの開口部を85cmとした。3. 車椅子の回転半径を150cmとした。4. 天井走行リフターを設置した。5. 浴室の扉を3枚引き違い戸にした。 <p>解：1. 3. 4の選択が可能</p>	
<p>理由</p> <p>脊髄損傷T1レベルの車いす操作能力は高く、かつ車いす全長は標準型より短い。従って車いすの回転半径は通常70～80cm、直径150cmと設定する。また、自宅退院にあたりと場面設定していることから、直径3mの回転円は日本の6畳、8畳の室面積内で実用的に確保は困難である。自宅を前提として考えるとこの回転スペース設定は誤りと思われるので、3は適切でないと選択できる。また、1と4も適切でないと選択できるため解答が3つとなり、採点を除外することが望ましいと思われる。</p>	
<p>参考とする文献</p> <p>1) 日本建築学会 編：ハンディキャップ者配慮の設計手引。P14，彰国社，1981。</p>	

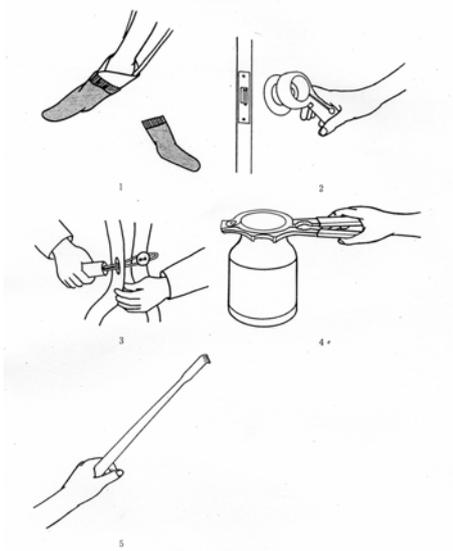
第40回理学療法士作業療法士国家試験問題
採点を除外することが望ましいと思われる問題

(平成17年3月6日実施)

作業療法問題

問題番号(18)

問題18 関節リウマチの自助具で適切でないのはどれか。



解：解なし

理由

下記の文献には、1～5全ての自助具が関節リウマチの方が用いる主な自助具として名称が記載されている。従って解なしとなり、採点を除外することが望ましいと思われる。

参考とする文献

1) 日本作業療法士協会 監修：作業療法学全書第10巻日常生活活動. 協同医書出版, 1999.

第40回理学療法士作業療法士国家試験問題
採点を除外することが望ましいと思われる問題

(平成17年3月6日実施)

作業療法問題	問題番号 (57)										
<p>問題57 骨折に伴いやすい神経麻痺との組合せで適切でないのはどれか。</p> <table border="0" data-bbox="239 537 829 728"><tr><td>1 . 肩甲骨骨折</td><td>肩甲上神経麻痺</td></tr><tr><td>2 . 上腕骨近位端骨折</td><td>腋窩神経麻痺</td></tr><tr><td>3 . モンテジア骨折</td><td>撓骨神経麻痺</td></tr><tr><td>4 . 上腕骨顆上骨折</td><td>尺骨神経麻痺</td></tr><tr><td>5 . 撓骨遠位端骨折</td><td>正中神経麻痺</td></tr></table> <p>解：1 . 4 の選択が可能</p>		1 . 肩甲骨骨折	肩甲上神経麻痺	2 . 上腕骨近位端骨折	腋窩神経麻痺	3 . モンテジア骨折	撓骨神経麻痺	4 . 上腕骨顆上骨折	尺骨神経麻痺	5 . 撓骨遠位端骨折	正中神経麻痺
1 . 肩甲骨骨折	肩甲上神経麻痺										
2 . 上腕骨近位端骨折	腋窩神経麻痺										
3 . モンテジア骨折	撓骨神経麻痺										
4 . 上腕骨顆上骨折	尺骨神経麻痺										
5 . 撓骨遠位端骨折	正中神経麻痺										
<p>理由</p> <p>下記の文献では、肩甲骨骨折に肩甲上神経麻痺が伴いやすいという記載はない。また、上腕骨顆上骨折に伴いやすい神経麻痺は撓骨神経麻痺、正中神経麻痺とある。従って1 , 4 が選択でき複数解となるため、採点を除外することが望ましいと思われる。</p>											
<p>参考とする文献</p> <p>1) 石井清一 他監修：標準整形外科学 . 医学書院 , 1992 . 2) 奈良勲 他監修：標準理学療法学・作業療法学 整形外科学 . 医学書院 , 2005 .</p>											